

53 男女共同参画センター運営

事業概要	目的	男女共同参画社会の実現をめざします					
	内容	<p>男女共同参画社会の実現に向けた拠点施設として千代田区男女共同参画センターMIW（ミュウ）を運営し、男女共同参画社会の実現に向けて普及啓発を行います。</p> <p>【所在地】千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階</p> <p>【機能】情報・学習・支援・相談・交流</p> <p>【施設構成】交流サロン、情報ライブラリ、ミーティングルーム、相談室、事務室</p> <p>【施設規模】約331㎡（共用面積を含む）</p> <p>【開館時間】月～金曜日：9時～21時、土曜日：9時～17時</p>					
	事業開始年度	平成10年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	48,779,000円		46,970,939円		96.3%		
	コスト単位	区民1人あたり				(59,042人)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	796円	[87.7%]	112円	[12.3%]	908円	[100.0%]
	26年度	783円	[87.9%]	108円	[12.1%]	891円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>性的マイノリティに関する講座を初めて実施し、当事者を含む多くの方にご参加いただきました。また、青少年委員会管内研修としてデートDV啓発講座を実施し、安全・安心な社会の実現に向けた意識啓発を行いました。その他にも、父子料理教室や女性のキャリア形成を図る講座等様々な分野で普及啓発を行い、学習機能の充実を図りました。</p> <p>また、センター内のレイアウトを一部変更し、交流サロンで講座を実施する機会が増え、利用促進に繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：26,676人 ・相談件数：588件 ・講座等事業参加者数：1,504人 						
	<p>平成26年度に実施した千代田区民世論調査では、センターを知らない区民が約6割との調査結果が出ており、センターの認知度を高め、利用促進に繋げていくことが必要です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に策定される第5次千代田区男女平等推進行動計画に基づきセンター運営を行うとともに、交流サロンでの講座実施回数の増加や幅広い分野の事業を実施することで、地域に根差した男女共同参画社会実現の拠点施設としての認知度を高め、更なる利用促進を図っていきます。</p>						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応							
所管課	地域振興部	国際平和・男女平等人権課	決算参考書	128頁	H27予算の概要	98頁	

54 千代田区戦争体験記録集【新規】

事業概要	目的	国際交流・協力や平和活動を推進します					
	内容	平成9年に千代田区戦争体験記録集「語りつぐ 平和への願い」を発行していますが、平成27年に戦後70年を迎えることや戦争体験者が高齢化していること、若い世代の方々に戦争の悲惨さを直接肌で感じていただくことを視点に、区民参加による戦争体験記録集を改めて作成します。					
	事業開始年度	平成27年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	17,410,000円		16,377,337円		94.1%		
	コスト単位	作成部数1部あたり (1,000部)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	16,377円	[86.8%]	2,486円	[13.2%]	18,863円	[100.0%]
	26年度	—	—	—	—	—	—
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>戦争体験記録集作成にあたり、戦争を知らない若い世代の方々に戦争体験者へのインタビューを務めていただきました。また、インタビューに向けて、取材のテクニックや戦時下の歴史等を学ぶ事前セミナーも開催しました。(全5回実施) 完成した戦争体験記録集は、様々な媒体を使って広く平和への思いをアピールしていくために、冊子とあわせてDVDの作成と電子ブック化も図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル：千代田区戦争体験記録集「未来へつなぐバトン」 ・発行：平成28年3月 ・作成部数：1,000部 						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>戦後70年が経過し、戦争を体験した方々の話を聞く機会は貴重なものとなっています。平和の尊さを伝え、未来に語り継ぐことで、戦争の記憶を風化させないことが大切です。</p> <p>今後もこの記録集を平和教育に活用し、広く区民へ平和啓発を進めていきます。</p>						
所管課	地域振興部	国際平和・男女平等・人権課	決算参考書	128頁	H27予算の概要	97頁	

55 終戦70周年平和イベント【新規】

事業概要	目的	国際交流・協力や平和活動を推進します					
	内容	平成27年8月に太平洋戦争が終結してから70年を迎えるにあたり、『国際平和都市千代田区宣言』の主旨に基づき、広く戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて考える機会を提供します。					
	事業開始年度	平成27年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	1,837,000円		1,434,107円			78.1%	
	コスト単位	区民1人あたり			(59,042人)		
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	24円	[40.7%]	35円	[59.3%]	59円	[100.0%]
	26年度	—	—	—	—	—	—
事業実績	○平成27年度実績						
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル 戦後70周年平和イベント ・開催日時 平成27年8月21日(金) 午後1時30分～4時30分 ・開催会場 千代田区役所 区民ホール ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 第1部 著名人によるトークと朗読 第2部 原爆被爆者による被爆体験の講演 第3部 平成27年度平和使節団(沖縄・広島・長崎)による報告 ・参加人数 160名 						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>戦後70年が経過し、戦争を体験した方々の話を聞く機会は貴重なものとなっています。平和の尊さを伝え、未来に語り継ぐことで、戦争の記憶を風化させないことが大切です。</p> <p>戦後70周年の節目にあたる平和イベント事業は完了しましたが、今後も区民の方々に戦争の記憶を伝え、平和の尊さを考える機会の提供に努めます。</p>						

56 千代田区サイン計画の策定【新規】

事業概要	目的	千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます				
	内容	<p>区が設置した各種公共サインは、所管課や整備時期等の違いにより、多言語表記等の情報内容、デザインや色彩などが異なっており、区として統一感がとれているとは言えない状況にあります。</p> <p>そこで、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、統一性を保ちつつ、周辺の街並みや景観にも配慮した「風格あるまち千代田」にふさわしいサインとなるよう、「公共サインデザインマニュアル」等を策定します。策定後は、区全体でよりわかりやすく案内等ができるよう、このマニュアル等に基づき計画的に更新等を行っていきます。</p>				
	事業開始年度	平成27年度				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	10,000,000円		9,774,000円		97.7%	
	コスト単位	策定1件あたり			(1件)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
	27年度	9,774,000円	[55.4%]	7,873,901円	[44.6%]	17,647,901円 [100.0%]
	26年度	—	—	—	—	—
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>庁内のサイン所管課等による作業部会（3回開催）及び庁内検討会（4回開催）等で検討するとともに、誰にでもわかりやすく、統一感のとれた案内サインとなるよう、区民からの意見等も取り入れ、「千代田区公共サインデザインマニュアル」及び「千代田区サインガイドライン」を策定しました。</p> <p>(1) 意見公募（パブリックコメント）</p> <p>①期間 平成28年2月5日（金）～2月22日（月）</p> <p>②結果 意見提出者数7名、意見数16件</p> <p>(2) サイン計画</p> <p>①千代田区公共サインデザインマニュアル 国や都の基準を踏まえ、多言語表記やデザイン等のルールを定めた、区の内部向けマニュアル</p> <p>②千代田区サインガイドライン 多言語表記や色彩等の基本的事項を定めた民間事業者向けの指針</p>					
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を目途にした計画的な更新、統一的なルールに基づいた整備、民間事業者への周知が課題です。</p> <p>平成28年度は、「千代田区公共サインデザインマニュアル」に基づいたサインへの更新を順次開始します。また、「千代田区サインガイドライン」に基づいた民間事業者への協力要請を行います。</p> <p>平成29年度は、平成28年度 of 取組状況を踏まえ、サインの更新を進めるとともに、引き続き民間事業者への協力要請を行っていきます。</p>					
所管課	地域振興部 国際平和・男女平等人権課 (オリンピック・パラリンピック担当課長)		決算参考書	132頁	H27予算の概要 89頁	

57 コミュニティ施策の一元的推進

事業概要	目的	マンション内コミュニティの醸成を支援します																																		
	内容	<p>区の定住人口はマンションを中心に増加しており、8割を超える区民がマンションなどの共同住宅に居住しています。区内には、町会や商店会を基盤とする地域コミュニティが受け継がれていますが、伝統的な地域コミュニティ観を持たない区民が増加する中で、地域コミュニティの活性化が課題です。</p> <p>平成27年1月の地域コミュニティ活性化検討委員会からの提言を基に、地域コミュニティの醸成に向けた取組みを展開していきます。その一環として、マンション・カフェなどにより、マンション内コミュニティが醸成され、地域と良好な関係を築くことができるよう支援します。</p>																																		
	事業開始年度	平成25年度																																		
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率																														
	440,000円		264,861円			60.2%																														
	コスト単位	区民1人あたり				(59,042人)																														
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)																														
	27年度	4円	[2.0%]	197円	[98.0%]	201円	[100.0%]																													
	26年度	8円	[3.8%]	202円	[96.2%]	210円	[100.0%]																													
事業実績	○平成27年度実績																																			
	(1) ちよだマンション・カフェ																																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 マンションの課題等の意見交換や交流の場として開催 ・開催実績 7回 (下表のとおり) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年月日</th> <th>開催地区</th> <th>参加者数</th> <th>実施年月日</th> <th>開催地区</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年5月16日</td> <td>麴町</td> <td>26人</td> <td>平成27年10月24日</td> <td>神保町</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>平成27年6月13日</td> <td>和泉橋</td> <td>36人</td> <td>平成27年11月3日</td> <td>万世橋</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>富士見</td> <td>16人</td> <td>平成27年11月14日</td> <td>和泉橋</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>平成27年10月3日</td> <td>神田公園</td> <td>2人</td> <td>合計</td> <td></td> <td>148人</td> </tr> </tbody> </table>							実施年月日	開催地区	参加者数	実施年月日	開催地区	参加者数	平成27年5月16日	麴町	26人	平成27年10月24日	神保町	15人	平成27年6月13日	和泉橋	36人	平成27年11月3日	万世橋	51人	平成27年8月1日	富士見	16人	平成27年11月14日	和泉橋	2人	平成27年10月3日	神田公園	2人	合計	
実施年月日	開催地区	参加者数	実施年月日	開催地区	参加者数																															
平成27年5月16日	麴町	26人	平成27年10月24日	神保町	15人																															
平成27年6月13日	和泉橋	36人	平成27年11月3日	万世橋	51人																															
平成27年8月1日	富士見	16人	平成27年11月14日	和泉橋	2人																															
平成27年10月3日	神田公園	2人	合計		148人																															
(2) マンション施策検討会議																																				
<ul style="list-style-type: none"> ・目的 ちよだマンション・カフェやマンション施策の方向性を検討 ・構成 (公財)まちみらい千代田、(福)千代田区社会福祉協議会、外部委員(マンション居住者)、出張所を含む区職員 ・開催実績 3回 																																				
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>ちよだマンション・カフェについては、区及び(公財)まちみらい千代田の主催により開催してきましたが、一定数の参加があるものの、マンションの問題に関心がある参加者層の増加につながらず、マンションの議論が深まらないという課題があり、民主導による実施をめざしています。</p> <p>平成29年度は、平成28年度の民主導によるマンション・カフェの実施状況を踏まえて検討し、マンションをはじめ地域コミュニティ醸成支援に取り組みます。</p>																																			
所管課	地域振興部	コミュニティ総務課	決算参考書	138頁	H27予算の概要	85頁																														

58 消費生活支援事業

事業概要	目的	中小企業や商工業の活性化を支援します																									
	内容	消費税の税率改定を踏まえ、全区民を対象としたスタンプカードの配付を通じて、区民の消費生活支援を目的に実施しました。 千代田区内の加盟店で買物又は飲食した際に500円毎にスタンプカードにスタンプを1個押印し、1枚のカードで10個押印済みとなったものを、500円の金券として利用できるものです。																									
	事業開始年度	平成19年度（消費者サービス事業（平成14年度事業開始）の後継事業）																									
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率																					
	182,084,000円		142,672,897円			78.4%																					
	コスト単位	スタンプカード換金1枚あたり				(256,722枚)																					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)																					
	27年度	556円	[91.0%]	55円	[9.0%]	611円	[100.0%]																				
	26年度	552円	[89.2%]	67円	[10.8%]	619円	[100.0%]																				
事業実績	○平成27年度実績																										
	(1) 対象者・配付枚数等																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>対象者 (人)</th> <th>配付枚数 (A)</th> <th>換金枚数 (B)</th> <th>換金率 (B/A)</th> <th>区内消費額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>全区民</td> <td>61,973</td> <td>473,183</td> <td>256,722</td> <td>54.3%</td> <td>1,411,971,000円以上</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>全区民</td> <td>60,213</td> <td>399,610</td> <td>209,107</td> <td>52.3%</td> <td>1,150,088,500円以上</td> </tr> </tbody> </table>								対象者	対象者 (人)	配付枚数 (A)	換金枚数 (B)	換金率 (B/A)	区内消費額	平成27年度	全区民	61,973	473,183	256,722	54.3%	1,411,971,000円以上	平成26年度	全区民	60,213	399,610	209,107	52.3%
	対象者	対象者 (人)	配付枚数 (A)	換金枚数 (B)	換金率 (B/A)	区内消費額																					
平成27年度	全区民	61,973	473,183	256,722	54.3%	1,411,971,000円以上																					
平成26年度	全区民	60,213	399,610	209,107	52.3%	1,150,088,500円以上																					
(2) 加盟店数																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>加盟店数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>649</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>591</td> </tr> </tbody> </table>								加盟店数	平成27年度	649	平成26年度	591															
	加盟店数																										
平成27年度	649																										
平成26年度	591																										
事業実績を踏まえた課題と二十九年予算への対応	消費生活支援事業は、平成27年度に2年間の時限事業を完了し、区民の消費生活や区内消費喚起に貢献してきました。 今後も区民の消費生活を支援するとともに、区内での消費を促す経済対策として、新たな支援策を検討します。																										
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	138頁	H27予算の概要	90頁																					

59 千代田区シティプロモーションの推進【拡充】

事業概要	目的	千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます					
	内容	2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されると、これまで以上に区には国内外から多くの来訪者が想定されます。2020年東京オリンピック・パラリンピックが、これまで蓄積されてきた「文化資源」や「観光資源」などといった区の魅力を、広く国内外へ継続的に発信していく絶好の機会であると捉え、「千代田区魅力発信会議」を設置し、シティプロモーションの推進に向け検討を進めます。					
	事業開始年度	平成26年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	10,775,000円		9,716,839円		90.2%		
	コスト単位	魅力発信会議 1回あたり (4回)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	2,429,210円	[58.0%]	1,761,267円	[42.0%]	4,190,477円	[100.0%]
	26年度	531,970円	[39.1%]	828,351円	[60.9%]	1,360,321円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>千代田区魅力発信会議において議論を行い、区の魅力を整理し、魅力の体系化を行いました。また、議論の参考としてもらうため、区民や昼間区民等に対するアンケート調査などを行いました。</p> <p>(1) 千代田区魅力発信会議</p> <p>①委員 学識経験者及び区内在住・在勤・在学者27名</p> <p>②開催回数 4回</p> <p>(2) アンケート調査</p> <p>①区民2,000名 (郵送調査)</p> <p>②昼間区民及び区以外の都内ほか居住者 2,000名 (インターネット調査)</p> <p>(3) 魅力の体系化</p> <p>5つのテーマ (行く、住む、居る、支える、伝える) から掘り起こした魅力を、対象者 (区民、区外の日本人、区外の外国人の3者) 毎に、広さ (観る、食べる、遊ぶ、驚く、繋がる、囁く) と深さ (大、中、小項目) の視点で体系化を行いました。</p>						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>体系化した区の魅力について、効果的に発信することが課題です。</p> <p>平成28年度は、対象者毎の発信手法の具体的な方法について魅力発信会議で検討・決定を行っていきます。</p> <p>平成29年度は、決定した具体策を継続的に広く国内外へ発信し、区民には誇りや生きがいの醸成を、また、区外の日本人や外国人には、区の魅力を体感してもらい、まちの賑わいや回遊性を高めていけるよう取り組みます。</p>						

60 商工融資事業

事業概要	目的	中小企業や商工業の活性化を支援します				
	内容	中小企業者の経営安定化を支援するため、指定金融機関及び信用保証協会と連携し、低利で融資が受けられるように利子補給や信用保証料を補助しています。また、中小企業診断士による無料経営相談や経営リスクの高い起業資金、事業転換・多角化資金実行後のフォローアップ診断を行っています。				
	事業開始年度	昭和28年度				
事業費・コスト	予算現額				決算額	執行率
	(1) 融資預託金	1,000,000,000円		1,000,000,000円	100.0%	
	(2) 利子補給金	129,086,000円		85,397,128円	66.2%	
	(3) 信用保証料	64,000,000円		38,610,783円	60.3%	
	(4) 経営相談	1,200,000円		840,000円	70.0%	
	(5) 融資事務費	3,655,000円		2,142,769円	58.6%	
	コスト単位	コスト調査対象外		(—)		
		融資利用1件あたり(利子補給金)		(2,558件)		
		信用保証料補助1件あたり		(260件)		
		フォローアップ診断1件あたり		(28件)		
		融資利用1件あたり(融資事務費)		(2,558件)		
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)
	27年度	—	—	—	—	—
		33,384円	[87.3%]	4,860円	[12.7%]	38,244円
		148,503円	[86.9%]	22,315円	[13.1%]	170,818円
		30,000円	[50.3%]	29,601円	[49.7%]	59,601円
		838円	[13.9%]	5,184円	[86.1%]	6,022円
	26年度	—	—	—	—	—
		31,402円	[87.0%]	4,683円	[13.0%]	36,085円
		128,937円	[85.9%]	21,162円	[14.1%]	150,099円
30,000円		[39.5%]	46,020円	[60.5%]	76,020円	
640円		[12.0%]	4,683円	[88.0%]	5,323円	
事業実績	○平成27年度実績					
	融資実行	683件	3,883,600,000円			
	信用保証料補助	260件	38,610,783円			
	経営相談	928件				
	フォローアップ診断	28件				
	(参考)					
	平成27年度末貸付残高(融資利用中)	2,558件	8,388,349,000円			
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	平成27年度の融資実行額は前年度を若干上回り、経営基盤が脆弱で信用力に乏しいと言われる中小企業の資金調達を助ける制度として、一定の機能を果たしていますが、より利用しやすい制度とするための検討が必要です。					
	平成29年度は、平成28年度に引き続き、利子補給率や信用保証率を優遇する特例措置を実施するとともに、社会情勢・金融経済情勢を注視し、上記の検討も踏まえ、経営相談と融資の相乗効果により中小企業の経営安定化を支援していきます。					
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	144頁	H27予算の概要	90頁

61 商工関係団体等支援事業

事業概要	目的	中小企業や商工業の活性化を支援します																																																																																						
	内容	商店街など区内商工関係団体等が主体的に行うイベント等に対し、商店街の活性化や地域に賑わいを創出することを目的に支援しています。																																																																																						
	事業開始年度	平成24年度（賑わいまちづくり支援、商店街等活性化企画立案支援、業種別団体活性化支援、中小企業団体支援を統合）																																																																																						
事業費・コスト	予算現額	71,285,000円			決算額	59,369,559円	執行率	83.3%																																																																																
	コスト単位	助成1件あたり			(49件)																																																																																			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)																																																																																		
	27年度	1,211,624円	[74.9%]	405,958円	[25.1%]	1,617,582円	[100.0%]																																																																																	
	26年度	1,170,505円	[73.5%]	422,988円	[26.5%]	1,593,493円	[100.0%]																																																																																	
	事業実績	<p>○平成27年度実績 イベント事業について、千代田区商工関係団体の事業補助審査会における評価制度を見直しました。評価の結果に基づき専門家による助言を行い、より効果的な事業展開を支援していきます。</p> <p>(1) 補助金額等 【単位：千円】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>合計</th> <th>区補助</th> <th>都補助</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">平成27年度</td> <td>都補助事業</td> <td>32</td> <td>41,776</td> <td>20,996</td> <td>20,780</td> <td>2/3～11/12</td> </tr> <tr> <td>区独自事業</td> <td>2</td> <td>291</td> <td>291</td> <td>—</td> <td>1/2～2/3</td> </tr> <tr> <td>業種別団体</td> <td>12</td> <td>12,028</td> <td>12,028</td> <td>—</td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>中小企業団体</td> <td>3</td> <td>4,800</td> <td>4,800</td> <td>—</td> <td>1/2・10/10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49</td> <td>58,895</td> <td>38,115</td> <td>20,780</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">平成26年度</td> <td>都補助事業</td> <td>28</td> <td>38,734</td> <td>19,104</td> <td>19,630</td> <td>2/3～11/12</td> </tr> <tr> <td>区独自事業</td> <td>5</td> <td>1,319</td> <td>1,319</td> <td>—</td> <td>1/2～2/3</td> </tr> <tr> <td>業種別団体</td> <td>11</td> <td>9,780</td> <td>9,780</td> <td>—</td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>中小企業団体</td> <td>3</td> <td>4,800</td> <td>4,800</td> <td>—</td> <td>1/2・10/10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47</td> <td>54,633</td> <td>35,003</td> <td>19,630</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 商店会数及び会員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店会数</td> <td>43</td> <td>44</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>1,507</td> <td>1,531</td> <td>1,578</td> </tr> </tbody> </table>							年度	区分	件数	合計	区補助	都補助	補助率	平成27年度	都補助事業	32	41,776	20,996	20,780	2/3～11/12	区独自事業	2	291	291	—	1/2～2/3	業種別団体	12	12,028	12,028	—	2/3	中小企業団体	3	4,800	4,800	—	1/2・10/10	合計	49	58,895	38,115	20,780		平成26年度	都補助事業	28	38,734	19,104	19,630	2/3～11/12	区独自事業	5	1,319	1,319	—	1/2～2/3	業種別団体	11	9,780	9,780	—	2/3	中小企業団体	3	4,800	4,800	—	1/2・10/10	合計	47	54,633	35,003	19,630			平成27年度	平成26年度	平成25年度	商店会数	43	44	46	会員数	1,507	1,531
年度	区分	件数	合計	区補助	都補助	補助率																																																																																		
平成27年度	都補助事業	32	41,776	20,996	20,780	2/3～11/12																																																																																		
	区独自事業	2	291	291	—	1/2～2/3																																																																																		
	業種別団体	12	12,028	12,028	—	2/3																																																																																		
	中小企業団体	3	4,800	4,800	—	1/2・10/10																																																																																		
	合計	49	58,895	38,115	20,780																																																																																			
平成26年度	都補助事業	28	38,734	19,104	19,630	2/3～11/12																																																																																		
	区独自事業	5	1,319	1,319	—	1/2～2/3																																																																																		
	業種別団体	11	9,780	9,780	—	2/3																																																																																		
	中小企業団体	3	4,800	4,800	—	1/2・10/10																																																																																		
	合計	47	54,633	35,003	19,630																																																																																			
	平成27年度	平成26年度	平成25年度																																																																																					
商店会数	43	44	46																																																																																					
会員数	1,507	1,531	1,578																																																																																					
課題と二十九年度予算への対応	<p>商店街の活性化や地域に賑わいを創出するイベント等行うためには、商店会の自主的な運営を促す組織強化を支援し、効果的な事業展開を行うことが課題です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に引き続き、関係団体と協議しながら商店会の組織強化を支援していくとともに、商工関係団体がより効果的なイベント事業等を実施できるよう、専門家による助言等を通じて、取組みを支援します。</p>																																																																																							
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	144頁	H27予算の概要	90頁																																																																																		

62 地方との連携支援【新規】

事業概要	目的	千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます																			
	内容	千代田区をはじめとする大都市は、人材、食料、エネルギーなど経済活動、生活全般にわたって地方に支えられて成り立っています。本事業は、千代田区と地方が相互の強みを活かし、共生の理念に基づき発展していくことを目的としています。そのため、千代田区の集客力・情報発信力を活かし、地方都市との連携を深め、物産出展の場の提供等により支援を行います。																			
	事業開始年度	平成27年度																			
事業費・コスト	予算現額	5,000,000円		決算額	4,518,720円		執行率	90.4%													
	コスト単位	連携イベント1件あたり (2件)																			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)															
	27年度	2,259,360円	[84.5%]	414,416円	[15.5%]	2,673,776円		[100.0%]													
	26年度	—	—	—	—	—		—													
	事業実績	<p>○平成27年度実績 千代田区の集客力・情報発信力を活かし、「場」の提供を求める地方都市との連携を深め「ちよだフードバレーネットワーク」を通じてPR活動への支援を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な事業名</th> <th>日時・会場</th> <th>事業経費 (円)</th> <th>参加市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オータムマルシェ</td> <td>H27.11.21~H27.11.23 有楽町駅前広場</td> <td>4,194,720</td> <td>岩手県釜石市、外14団体</td> </tr> <tr> <td>有楽町さくらまつり</td> <td>H27.4.1~H27.4.2 有楽町駅前広場</td> <td>324,000</td> <td>岩手県釜石市、外6団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、地方の特産品が区民等へ提供される、ちよださくらまつり、ホテ市、青空市場やちよだいちばへ出店する団体等の活動を支援しました。</p>									主な事業名	日時・会場	事業経費 (円)	参加市町村	オータムマルシェ	H27.11.21~H27.11.23 有楽町駅前広場	4,194,720	岩手県釜石市、外14団体	有楽町さくらまつり	H27.4.1~H27.4.2 有楽町駅前広場	324,000
主な事業名	日時・会場	事業経費 (円)	参加市町村																		
オータムマルシェ	H27.11.21~H27.11.23 有楽町駅前広場	4,194,720	岩手県釜石市、外14団体																		
有楽町さくらまつり	H27.4.1~H27.4.2 有楽町駅前広場	324,000	岩手県釜石市、外6団体																		
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>区の集客力・情報発信力を活かし、製品の販売などの場の提供を求める地方都市との連携を深め、共に地域振興を進めて行く必要があります。また、商店街などの既存事業や商工業連合会の自主事業も含め、農商工に係る関連事業を体系化・整理し、目的を明確にしたうえで、事業を推進していく必要があります。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に新規に実施するフードバレーネットワークの事業を効果検証し、まちみらい千代田とともにちよだフードバレーネットワークの活動を支援していきます。</p>																				
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	146頁	H27予算の概要	87頁															

63 観光支援事業【新規】

事業概要	目的	千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます																															
	内容	<p>本区を訪れる観光客は年々増加しており、特に外国人観光客数の増加率は顕著に伸びています。</p> <p>その中で、観光客の利用頻度も増している外国人観光案内所を運営する中小企業者及び商工関係団体等に対し、その運営に要する経費の一部を補助し、区内を訪れる外国人旅行者等の利便性及び満足度の向上を図り、区内の産業の活性化に寄与することを目的に支援しています。</p>																															
	事業開始年度	平成27年度																															
事業費・コスト	予算現額	5,660,000円		決算額	4,753,000円		執行率	84.0%																									
	コスト単位	観光案内所1か所あたり (2か所)																															
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)																											
	27年度	2,376,500円	[74.1%]	828,832円	[25.9%]	3,205,332円		[100.0%]																									
	26年度	—	—	—	—	—		—																									
	事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>2か所の観光案内所について、多言語での観光案内を行うための人材確保に要する経費の一部を補助し、案内所の運営を支援しました。 (補助率2/3、補助限度額：3,330,000円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>案内所名</th> <th>事業経費</th> <th>補助率</th> <th>補助金額</th> <th>運営団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>アキバ・インフォ (外神田4-14-1 UDXビル2階)</td> <td>3,398,236</td> <td>2/3</td> <td>2,265,000</td> <td>秋葉原タウンマネジメント (株)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>本と街の案内所 (神田神保町1-7-7)</td> <td>3,737,655</td> <td>2/3</td> <td>2,488,000</td> <td>NPO法人 連想出版</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>7,135,891</td> <td></td> <td>4,753,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										案内所名	事業経費	補助率	補助金額	運営団体	1	アキバ・インフォ (外神田4-14-1 UDXビル2階)	3,398,236	2/3	2,265,000	秋葉原タウンマネジメント (株)	2	本と街の案内所 (神田神保町1-7-7)	3,737,655	2/3	2,488,000	NPO法人 連想出版		合計	7,135,891		4,753,000
	案内所名	事業経費	補助率	補助金額	運営団体																												
1	アキバ・インフォ (外神田4-14-1 UDXビル2階)	3,398,236	2/3	2,265,000	秋葉原タウンマネジメント (株)																												
2	本と街の案内所 (神田神保町1-7-7)	3,737,655	2/3	2,488,000	NPO法人 連想出版																												
	合計	7,135,891		4,753,000																													
事業実績を踏まえた課題と 二十九年度予算への対応	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、外国人観光客数の増加と共に、観光案内所の利用者数も年々増え続けています。そのため、外国人観光客の利用実績やニーズ等を更に把握することが課題です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に引き続き、観光案内所連絡会を開催し、利用者の動向や案内所の運営状況の把握、観光情報の提供等に努めます。また、CHIYODA Free Wi-Fiの運用により得られるビッグデータの活用や商店街等のイベント情報の提供など関係団体との連携も検討します。</p>																																
所管課	地域振興部	商工観光課	決算参考書	146頁	H27予算の概要	88頁																											

64 文化芸術鑑賞事業

事業概要	目的	豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます				
	内容	身近に芸術に親しむ機会を提供するために、様々な分野の「文化芸術鑑賞事業」を実施します。				
	事業開始年度	平成22年度（まちかどアートのみ平成23年度）				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	25,491,000円		21,299,661円		83.6%	
	コスト単位	参加者1人あたり			(6,353人)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)
	27年度	3,353円	[74.5%]	1,148円	[25.5%]	4,501円 [100.0%]
	26年度	1,626円	[74.4%]	560円	[25.6%]	2,186円 [100.0%]
事業実績	○平成27年度実績					
	事業名	実施日	会場	来場者数	内容	
	アーティスト・イン・レジデンス	6/26～7/20	アーツ千代田3331	1,483	アールブリュットアートの紹介等	
	障害者アート支援事業(展示)	6/26～7/20、1/7～20、3/19～21	アーツ千代田3331他	2,161	ポコラート全国公募等	
	障害者アート支援事業(ワークショップ)	6/27、6/28～7/20、1/10	アーツ千代田3331他	237	アーティストトーク、ポコラートトークショー等	
	伝統芸能鑑賞事業	6/4、9/13、19、11/8、21、12/19	国立劇場、よみうり大手町ホール	696	人間国宝の会、歌舞伎、文楽、能楽	
	ちよだシーズンコンサート(洋楽)	12/11	内幸町ホール	162	ビッグバンドが贈る熱い夜	
	ちよだシーズンコンサート(邦楽)	2/27	内幸町ホール	135	新内と囃子が創る江戸の人情と滑稽	
	昼休みコンサート	4/14、8/28、12/25、3/17	区民ホール	755	フルート・ソプラノ・ピアノのアンサンブル等	
	サマーコンサート	7/4	日本教育会館一ツ橋ホール	700	オーケストラ名曲コンサート	
	文化芸術鑑賞	5/16	偕香苑	24	和の心を知る会～お囃子に親しむ～	
	まちかどアート	12/14～12/18	区民ホール	—	文化芸術展 文化芸術プランパネル展示 似顔絵コーナー	
合計			6,353			
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>本区が持つ歴史的、文化的に貴重な文化資源の積極的な活用を図り、文化芸術に触れる機会を増やしていくことが必要です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に引き続き、豊かな歴史・文化資源に触れる機会や、気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を提供していきます。</p>					

65 (仮称)生涯学習大学の創設【新規】

事業概要	目的	区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます				
	内容	<p>区民が「学び」を軸に活動と交流の輪を広げ、地域活性化につなげられるよう、区民が自ら選択・学習していく多様なメニューを採り入れた(仮称)生涯学習大学を創設します。</p> <p>また、卒業・修了者は人材バンクに登録し、生涯学習コーディネーター(※)やボランティアとして活躍できるよう、学習成果を地域で活用するためのしくみづくりを進めます。</p> <p>(※)生涯学習コーディネーター：人と人、人と情報、人と学習資源を適切に結びつける調整を行い、地域のリーダーとして生涯学習活動を推進する人材です。</p>				
	事業開始年度	平成27年度				
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率	
	7,398,000円		7,398,000円		100.0%	
	コスト単位	モニターコース1人あたり			(255人)	
	コスト内訳	事業費等(A)		人件費(按分)(B)		総コスト(C=A+B)
	27年度	29,012円	[52.7%]	26,003円	[47.3%]	55,015円 [100.0%]
	26年度	—	—	—	—	—
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>(1)平成28年度の正式開校に向けて、モニターコースを募集・実施し、受講生へアンケートを行い検証しました。</p> <p>テーマ 生涯学習コーディネーター養成～体験編～『発信力』</p> <p>開催日時 平成27年9月29日(火)～12月3日(木)19時～21時(全8回)</p> <p>開催場所 千代田区立九段生涯学習館及び日比谷図書文化館</p> <p>対象 20才以上で全8回の講座すべてに出席可能な方</p> <p>受講者数 36名(在住15名・在勤21名)</p> <p>受講料 無料</p> <p>アンケート内容 大学名称・履修期間・年間授業回数・授業時間及び参加しやすい曜日・受講生人数・興味あるカリキュラム等</p> <p>(2)「ちよだ生涯学習カレッジ」を正式名称とし、カレッジの骨子となる基本理念・3つの方針・授業形態等について、モニターコースのアンケート結果も踏まえ、第10期千代田区生涯学習推進委員会議において検討のうえ決定しました。</p>					
	事業実績を踏まえた課題と二十九年予算への対応	<p>モニターコースを実施し、アンケートを検証した結果、受講生の卒業後の活動への支援が課題であることが明らかになりました。</p> <p>平成29年度は、平成28年度の正式開校後の実施状況を踏まえ、卒業・修了者の支援策として、生涯学習人材バンクやカレッジサポーターに登録し、学習成果を地域で生かせる制度の具体化を進めます。</p>				
所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	150頁	H27予算の概要	91頁

66 屋外スポーツ活動支援

事業概要	目的	区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます					
	内容	<p>区には屋外スポーツ施設として、外濠公園グラウンドのほか花小金井運動施、夢の島東少年野球場があります。いずれも週末は利用率が高く、施設が不足しているため、区内もしくは近隣での施設確保の要望が多くあります。</p> <p>しかし、区内では野球やサッカーができる広い場所の確保が困難なため、周辺地区の施設が利用できるよう検討しています。区民が屋外スポーツを気軽に楽しめるよう、情報収集と交渉を行い、施設の確保を図ります。</p> <p>また、区内少年少女スポーツ団体の屋外活動を支援するため、施設利用料の一部を助成しています。</p>					
	事業開始年度	平成25年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	5,970,000円		181,000円		3.0%		
	コスト単位	助成1件あたり (6件)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	30,167円	[9.8%]	276,277円	[90.2%]	306,444円	[100.0%]
	26年度	39,200円	[10.6%]	331,340円	[89.4%]	370,540円	[100.0%]
事業実績	○平成27年度実績						
	<p>(1) 屋外スポーツ施設の確保</p> <p>平成25年度以後、借用可能な屋外スポーツ施設について情報収集を行い、平成27年度は都内外47自治体に対して調査を実施し、周辺地区の競技場施設の借り上げについて、交渉を行いました。</p> <p>そのうち、埼玉県三郷市にあるグラウンドの借り上げについて交渉をした結果、改修後に少年サッカー場として、平成28年10月から平成29年3月の日曜日利用について基本合意に至り、確保できる見込みとなりました。</p> <p>(2) 屋外スポーツ施設利用料助成制度</p> <p>区内で活動する少年少女スポーツ団体を対象に、区内外の屋外スポーツ施設を使用した場合にその施設利用料の一部を助成しています。</p> <p>助成内容は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設の使用料から2時間につき2,700円を控除した金額を助成する。 ・1団体につき年間10万円を上限とする。 <p>助成件数：6件 交付金額合計：181,000円</p>						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>屋外スポーツ施設利用料助成制度は、利用実績が少ないことが課題です。</p> <p>平成29年度は、屋外スポーツ施設利用料助成制度について、平成28年度の執行状況も踏まえ、見直しを行います。また、埼玉県三郷市の少年サッカー場については、利用ニーズ等も踏まえ、土曜日、祝日の借り上げについても検討します。</p>						
所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	152頁	H27予算の概要	92頁	

67 東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業

事業概要	目的	区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます						
	内容	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運を醸成するため、アスリートや有識者等を招致し、主に区内在住・在勤・在学者を対象に行われる、スポーツ・文化・観光・教育等の振興を目的とした事業を実施する場合に、その事業経費の一部を助成します。						
	事業開始年度	平成26年度						
事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率			
	1,530,000円		1,530,000円		100.0%			
	コスト単位	助成1件あたり			(4件)			
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)		
	27年度	382,500円	[69.8%]	165,766円	[30.2%]	548,266円 [100.0%]		
	26年度	366,000円	[68.8%]	165,670円	[31.2%]	531,670円 [100.0%]		
事業実績	○平成27年度実績 相談件数：5件、申請件数：4件、認定件数：3件、助成件数：4件 助成事業は下表のとおり。							
	項番	事業名	講師	主催	実施日	会場	参加者	交付金額
	1	おもてなしランナー育成 トライアル「プレ講座」	バルセロナオリンピック競歩代表 園原健弘氏	一般社団法人おもてなしランナー協会	4月12日 ～6月21日	TOKYO FM ホール	全10回のべ 255名	423,000円
	2	女性にとってのスポーツの価値と力 -女性とスポーツフォーラムVOL. 1-	アテネオリンピック女子ハンマー投げ代表 室伏由佳氏、I O C 女性委員他	学校法人共立女子学園	5月18日	共立女子学園講堂	250名	500,000円
	3	これで完璧！跳び箱はこう跳べ	アテネオリンピック男子体操競技団体金メダリスト 水鳥寿思氏	NPO法人大丸有エリアマネジメント協会	8月4日	麴町小学校	33名	500,000円
4	日本代表選手を招いてのバレーボール教室 -2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて-	ワールドカップ2015代表 千々木駿介氏	堺ブレイザーズ 千代田区応援団	9月13日	麴町中学校	95名	107,000円	
※1の事業は、平成26年度末に助成事業として認定								
事業実績を踏まえた課題と 二十九年度予算への対応	スポーツ振興を目的とした事業だけでなく、文化・観光・教育等の振興を目的とした事業への利用の促進も図る必要があります。 平成29年度は、平成28年度に引き続き、事業の普及啓発と周知を徹底します。							
所管課	地域振興部	生涯学習・スポーツ課	決算参考書	154頁	H27予算の概要	92頁		

68 図書館事業運営（指定管理料）

事業概要	目的	豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます					
	内容	区立図書館4館（千代田図書館・四番町図書館・昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館）の運営は、指定管理者制度を導入しています。指定管理者の経験とノウハウを活かし、魅力ある図書館サービスを提供するとともに、区内の大学図書館、古書店・新刊書店やミュージアムなど地域の機関と連携した事業を実施しています。また、「千代田区読書振興センター」として、子ども読書活動推進のための様々な取り組みも行っています。					
	事業開始年度	平成19年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	405,983,000円		405,983,000円			100.0%	
	コスト単位	来館者1人あたり				(1,254,617人)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	324円	[97.9%]	7円	[2.1%]	331円	[100.0%]
	26年度	330円	[97.9%]	7円	[2.1%]	337円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>(1) 来館者数</p> <p>①千代田図書館 : 674,771人</p> <p>②四番町図書館 : 292,009人</p> <p>③昌平まちかど図書館 : 103,617人</p> <p>④神田まちかど図書館 : 184,220人</p> <p>(2) サービス及び事業実績</p> <p>①千代田図書館 館内展示 : 56回、各種セミナー・イベント : 61回 夏休み期間の開館時間1時間繰上げ : 43日間</p> <p>②四番町図書館 おはなし会 : 63回、セミナー・イベント : 26回</p> <p>(3) 平成27年度から実施した事業等</p> <p>①千代田区子ども読書調査 1回 区立小学校、中学校、中等教育学校（前期課程）約1,600人を対象に実施</p> <p>②国立国会図書館デジタル資料の閲覧サービス開始（平成28年3月～）</p>						
事業実績を踏まえた課題と 二十九年度予算への対応	<p>様々な情報メディアの発達や生活環境の変化などによる子どもの読書離れが指摘されていることから、区の子どもたちの読書の状況を的確に把握し、子どもの読書推進につなげる効果的な事業を行うことが重要です。また、現在、別の指定管理者が運営を行っている日比谷図書文化館との連携を強化し、大人も含めた読書推進に向けたサービスの提供に努めていくことも必要です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に引き続き、「千代田区子ども読書調査」を実施し、子どもの読書活動の実態把握に努めます。また、日比谷図書文化館を含めた区立図書館5館を同一の指定管理者が運営することで、事務の効率化を図るとともに、各館の特色を活かした利用者サービスの提供を行っていきます。</p>						
所管課 地域振興部 文化振興課			決算参考書		154頁	H27予算の概要	93頁

69 生活環境改善推進【拡充】

事業概要	目的	清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます					
	内容	<p>区は、全国に先駆けて、路上喫煙を禁止する「安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例（生活環境条例）」を定め、地域の方々と「合同パトロール」や「一斉清掃」などの環境美化活動を行っています。さらに、職員が区内を巡回し、路上喫煙や路上放置物に対して指導・警告、罰則の適用を行い、安全で快適なまちづくりに努めています。</p> <p>また、誰もが利用できる屋内喫煙所の設置に対して助成を行うなど、喫煙スペースの確保を進め、喫煙者と非喫煙者双方に配慮した対策を進めています。</p>					
	事業開始年度	平成14年度（屋内喫煙所設置助成は平成21年度）					
事業費・コスト	予算現額				決算額		執行率
	(1) 生活環境改善推進				40,000,000円	24,477,820円	61.2%
	(2) 喫煙所設置対策				79,096,000円	68,090,371円	86.1%
	コスト単位	地区1haあたり				(933 ha)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	99,216円	[61.3%]	62,654円	[38.7%]	161,870円	[100.0%]
	26年度	36,253円	[32.4%]	75,727円	[67.6%]	111,980円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>(1) 合同パトロール（清掃活動、路上喫煙禁止の周知・啓発等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内10地区で毎月1～2回、区民や企業、警察等と合同で活動。 1団体1回当たりの平均参加者数 45人（平成26年度 45人） <p>(2) 一斉清掃の日</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月8日、11月6日に清掃活動・環境美化の啓発活動を実施。 延べ618団体、14,420人参加（平成26年度 373団体、9,341人） <p>(3) 路上喫煙対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が毎日巡回パトロールを行い、路上喫煙者へ指導、過料処分を実施。 過料処分件数 7,207件（平成26年度 7,252件） <p>(4) 路上放置物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 通行の妨げとなる置き看板や商品展示の設置者に対する是正指導を実施。 <p>(5) 屋内喫煙所設置助成（喫煙スペースの創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料で誰もが利用できる屋内喫煙所の設置・運営に係る費用を助成。 主な助成内容：初期費用 助成率10/10（500万円まで） 維持管理費用 助成率4/5（年額240万円まで・5年間助成） 実績：新規設置 8か所（平成26年度 2か所） 						
二十九年度予算への対応	<p>近年、条例の浸透や受動喫煙に対する意識の高まりから喫煙場所が減少しており、罰則の適用されない公園や私有地などに喫煙者が集中してしまうことが課題です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度に引き続き、既存の喫煙所の案内標示などの環境整備や屋内喫煙所設置助成の活用による喫煙場所の確保を進め、喫煙者の分散を図ります。</p> <p>また、個々の公園等の状況を考慮しながら、順次公園の分煙化・禁煙化を推進します。</p>						
所管課 地域振興部 安全生活課				決算参考書		198頁	H27予算の概要 94頁

70 防犯カメラ設置補助

事業概要	目的	清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます					
	内容	<p>区民が安心して暮らすことのできる環境を整え、より安全で安心なまちづくりをめざし、町会や商店街が街路灯等に防犯カメラを設置する場合に必要な経費（更新経費や維持管理経費を含む。）の一部を補助しています。</p> <p>なお、設置経費や更新経費に対する補助は、東京都の制度に区が独自に上乗せして補助を行うものです。また、維持管理経費に対する補助は、区独自の制度です。</p>					
	事業開始年度	平成16年度					
事業費・コスト	予算現額		決算額			執行率	
	16,944,000円		16,498,438円			97.4%	
	コスト単位	助成1件あたり				(7件)	
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
	27年度	2,356,920円	[95.2%]	118,405円	[4.8%]	2,475,325円	[100.0%]
	26年度	151,071円	[26.7%]	414,176円	[73.3%]	565,247円	[100.0%]
事業実績	<p>○平成27年度実績</p> <p>(1) 設置経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体数 3団体 ・台数 39台 ・補助額 16,239,000円 <p>(2) 更新経費 実績なし</p> <p>(3) 維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体数 4団体 ・台数 66台 ・補助額 259,438円 						
事業実績を踏まえた課題と二十九年度予算への対応	<p>現在、防犯カメラの維持管理経費については、区独自に補助対象経費の1/3（限度額50万円）を補助しています。補助金の活用により区内の防犯カメラの設置台数は増加しており、適切な維持管理が課題です。</p> <p>平成29年度は、平成28年度の実施状況を踏まえ、引き続き事業の周知を行い、効果的に事業を展開していきます。</p>						
所管課	地域振興部	安全生活課	決算参考書	198頁	H27予算の概要	96頁	